

平成29年9月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

## 平成29年9月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式	
9月12日(火)	10:00～	個人	1	三上 泉	一括	
	10:45～		2	山本由美子	一問一答	
	11:30～		3	西口 純生	一問一答	
			休憩			
	13:15～		4	竹田 幸生	一問一答	
	14:00～		5	馬場 隆	一問一答	
	14:45～		6	富谷加都子	一問一答	
9月13日(水)	10:00～	個人	7	奥野 正三	一問一答	
	10:45～		8	平本 英久	一問一答	
	11:30～		9	並河 愛子	一問一答	
			休憩			
	13:15～		10	藤本 弘	一問一答	
	14:00～		11	小川 克己	一問一答	
			休憩			
	15:00～		12	木曾 利廣	一問一答	
15:45～	13	田中 豊	一問一答			
9月14日(木)	10:00～	個人	14	齊藤 一義	一問一答	
	10:45～		15	石野 善司	一問一答	
	11:30～		16	奥村 泰幸	一問一答	
			休憩			
	13:15～		17	福井 英昭	一問一答	
	14:00～		18	小松 康之	一問一答	

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成29年9月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>三上 泉 9月12日(火) 10:00～</p> <p>※一括</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)について</p> <p>2 文化活動・芸術鑑賞等の施設整備について</p> <p>3 こども医療費助成制度の拡充について</p>	<p>先月、京都府から京都スタジアム(仮称)の概要について説明を受けた。また、工事入札公告も開始されている。建設工事に対する不安や疑問、スタジアムが市民生活にどのように影響するのかなど、市民からは多くの声が寄せられている。</p> <p>(1) 京都スタジアム(仮称)の建設工事・整備・運用にあたって、現時点での課題をどのように把握しているか。</p> <p>(2) 工事車両の通行経路はどのようなものになるのか。</p> <p>(3) 前項も含め、工事関係で該当する地域への説明等の有無は。もしまだであれば、どのような形で説明を行うのか。</p> <p>(4) 防災備蓄倉庫等、防災拠点として位置付けるというが、平成25年の台風18号のような水害となれば、十分に機能しないのではないか。</p> <p>(5) 前項のことを京都府は、きちんと把握しているように思えない説明であったが、確認しているのか。</p> <p>(6) 交通シミュレーションを亀岡市として行っているか。その進捗状況は。</p> <p>(7) Jリーグの試合の集客数などをどのように見込んでいるのか。</p> <p>市民からは、文化活動・芸術鑑賞ができる場所の要望が多く出ている。</p> <p>(1) 文化活動・芸術鑑賞ができる施設について、どのような見通しを持っているのか。</p> <p>(2) 現時点において、市民の文化・スポーツ活動、サークル活動等が十分に保障されていると認識しているか。また、改善のための取り組みは行っているか。</p> <p>(3) 公共施設等総合管理計画に関連して、国は今年度新しい財政措置として公共施設等適正管理推進事業債に新規事業を加えているが、これによる本市の計画・方針の修正等はあるのか。</p> <p>子育て世代は、子育て支援の施策をもっと充実させてほしいと願っている。今月診療分からこども医療費助成制度が拡充されていることは、一つ前に進んだものと評価するが、今後の見通しについて問う。</p> <p>(1) 新たな事業である、多子世帯へのこども医療費助成制度拡充に向けた申請受付数・審査等の実務の進捗状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 公共交通について</p> <p>5 公立保育所、小・中学校の環境・条件整備について</p>	<p>(2) 前項の対象となる世帯は、全子育て世帯の中でどのような比率になっているのか。</p> <p>(3) 今後の拡充の方向性をどのように考えているのか。</p> <p>市民の公共交通に対する願いにどう応えるのか、市としてできることは何かを明らかにして、今後も施策を進めていく必要がある。</p> <p>(1) JRのダイヤが3月に改正されたことによる市民への影響をどのように捉えているのか。</p> <p>(2) 嵯峨嵐山駅発着の電車が新設されたことによる馬堀駅発着時刻のアンバランス、並河駅以北の駅利用者の利便性の悪さ等の市民の声に対し、JRへの申入れ・要望などを行っているか。</p> <p>(3) バス路線の充実など、市としての対応策があるのか。</p> <p>(4) 篠地域のコミュニティバス利用は、亀岡駅・市役所・ガレリアかめおか等を結ぶバス路線網が確立することで利便性が高まると考える。100円区間の150円への値上げは慎重な検討を要すると考えるが、再検討の余地はないか。</p> <p>(5) 市道北古世西川線の開通時期はいつか。また、それに伴うバス路線の計画はどの程度進んでいるのか。</p> <p>この夏5つの中学校で普通教室へのエアコン設置工事が行われて、間もなく使用開始される。</p> <p>(1) 設置されたエアコンの今年度中の利用、利用実績データ把握などの見通しは。</p> <p>(2) 実績把握のためにも、また、よりよい教室環境維持のためにも、冬期も使用すべきだと考えるが、そのような計画になっているか。</p> <p>(3) 今年度設置されなかった残り2つの中学校の設置計画は。</p> <p>(4) 今年度実施設計予算が付いている小学校の設置工事の計画は。</p> <p>(5) それ以外の小学校のエアコン設置計画は。</p> <p>(6) 公立保育所のエアコン設置計画は。</p> <p>昨年も質問し問題提起した学校管理運営経費について問う。</p> <p>(7) 紙やインク等の消耗品などは各学校に十分に支給され、滞りなく教育活動が行われているか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
2	<p>山本由美子 9月12日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 乳がん検診について</p>	<p>乳がんは女性がかかるがんの第1位となっている。女性の11人に1人が乳がんにかかり、年間約14,000人が亡くなっている。しかし、乳がんは、早期発見・早期治療によって、90%以上の方が治癒するといわれている。このため、セルフチェックや定期検診の受診が非常に大切</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 認知症対策について</p>	<p>である。</p> <p>(1) 乳がん検診の受診率とがん発見率は。(人数も併せて伺う)</p> <p>(2) 要精密検査者数と精密検査受診者数は。</p> <p>(3) 要精密検査者に対して、どのような受診勧奨を行っているのか。</p> <p>(4) 乳がん検診の結果を通知する際、マンモグラフィでは異常の判別が困難な「高濃度乳房」と判定された場合、受診者へ知らせる体制を整備する考えは。</p> <p>(5) セルフチェック(自己検診)の普及・啓発の取組みは。</p> <p>(6) 若い世代にも関心を持ってもらえるように、入浴時に乳がんの自己検診に利用できるシートを導入する考えは。</p> <p>(7) 乳がんの早期発見、自己検診の啓発グッズとして乳がんグローブ(プレストケアグローブ)を配布する考えは。</p> <p>(8) やむを得ない理由で検診を受けられなかった方が、翌年申請・審査により受診できる特例措置制度を導入する考えは。(町田市において導入)</p> <p>認知症の人が住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けるために必要としていることに的確に応えていくため、本年7月5日、「新オレンジプラン」が改定され、平成32年度末までの新たな数値目標やより具体的な施策が提示された。</p> <p>(1) 認知症サポーター養成の現状と地域で活躍できる環境整備の取組みは。</p> <p>(2) 認知症の方とかかわることが多いと想定される小売業・金融機関・公共交通機関の職員に、認知症への理解を深めていただくため認知症サポーターについて周知し、受講を勧めることが求められているが、今後どのように働きかけていくのか。</p> <p>(3) 認知症により徘徊するおそれのある高齢者で事前登録をされた方にQRコード付き名札を配付しているが、実績と周知についての取組みは。</p> <p>(4) 認知症により徘徊するおそれのある高齢者が行方不明になった場合に、早期発見、事故の未然防止のため、靴などに貼る登録番号が記された反射材シールを配付する事業について、その後の検討状況は。</p> <p>(5) 認知症初期集中支援チーム設置に向けての進捗状況は。</p> <p>(6) 認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域の人など、誰もが気軽に参加でき「集いの場」となる認知症カフェの設置に向けての現状と今後の展開は。</p> <p>(7) 介護保険の給付対象とならないサービスを</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	--------------------	---	--------------------

		<p>3 災害発生時の避難所運営について</p>	<p>行う認知症高齢者見守り支援事業（武蔵野市において導入）を行う考えは。</p> <p>昨年4月に発生した熊本地震や昨夏の台風・大雨災害は全国各地で大規模な被害をもたらした。近年、全国各地で、いまだかつてないといわれる大規模災害が発生し、避難所生活を余儀なくされることも少なくない。</p> <p>(1)本市では平成28年4月に避難所開設マニュアルが改訂されているが、昨年の熊本地震の課題（女性の視点に配慮した対応、エコノミー症候群への対応や車中泊、テント泊の避難者の安否確認等）を受けて、避難所運営（開設）マニュアルを改訂する考えは。</p> <p>(2) 避難所運営（開設）マニュアルに基づく、避難所運営責任予定者の研修や避難所運営訓練の実施状況と今後の計画は。</p> <p>(3) 女性の視点を踏まえて、避難所を運営することは重要であると考えますが、見解は。（意思決定への女性の参画についてなども含む）</p> <p>(4) 女性防災リーダーの育成についての考えは。</p> <p>(5) マニュアルにある災害発生時の職員の役割を再度点検し、市民の安全確保を期すべきと考えますが、どうか。</p> <p>(6) 災害時に避難所や病院等において、お湯等飲料を提供できる災害対応型紙カップ式自販機の設置及び災害協定の締結を検討する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>西口 純生 9月12日（火） 11:30～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイルの発射、核実験等、日本はもとより東アジアの安全を脅かす重大な事案が発生している。世界平和からは遠くかけ離れている現状において、いざという時の危機管理及び平和への取組みについて市長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) 8月29日、午前5時58分頃、北朝鮮の弾道ミサイルが発射され、北海道上空を通過したことは、我が国にとって重大な脅威となった。Jアラートや各地の防災行政無線のトラブルが相次いで発生し、対応できなかった。亀岡市は、ミサイル対応危機管理をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 北海道では、防災行政無線が起動し「避難してください」との緊急速報があったようだが、市民は「どこへどのように避難すればいいのかわからない」という声が多くあったと報道され、いざという時の広報のあり方に、苦言を呈することとなった。現実的な市民の安全確保の実践について、亀岡市はどう対応するのか。</p> <p>(3) 「世界連邦・非核平和都市」を宣言する亀岡市は、軍事的な圧力の強化よりも平和的な</p>	<p>市長</p>

		<p>2 京都スタジアム（仮称）について</p>	<p>対話で共生の道を探ることが大事であり、自らその行動を示すために、亀岡市は大家族宣言をするのが望ましいと思う。みんな家族であるという言葉メッセージとして世界に向けて発信することについての所見は。</p> <p>スタジアム関連事業に対する市民の不安要素払拭のために、わかりやすい根拠を示すなど、さらに周知徹底していくことについて問う。</p> <p>(1) 大事業の予算執行を終え、市民の不安要素の1つでもある亀岡市の長期的な財政状況の見通しについて、わかりやすく説明することが必要ではないか。例えば、具体的な市債（借金）残高の推移や返済完了時期等の見通しはどのようになっているのか。</p> <p>(2) 新しくできるスタジアムに大きな期待をしている亀岡市民や青少年健全育成のため、子どもたちでも利用しやすい使用料など、市民の優遇策は考慮されているのか。地元協力の観点からも、借りやすい料金制度が望ましいと考えるがどうか。</p> <p>(3) スタジアムを活用したホストタウン誘致について、京都府知事は2020年のオリンピック開催に向けて、ラグビーチームを誘致したいと明言された。世界のスポーツの祭典でスタジアムが使われるとなれば、最高のパフォーマンスができるのではないか。具体的な対応策についての所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>亀岡市の安全・安心のまちづくりの最優先課題は、水害に強いまちづくりの構築である。桂川の河川改修については、上・下流でバランスのとれた整備の促進等という、手ぬるいきれいごとではなく、長年にわたり下流のために犠牲になってきた、上流の亀岡の安全確保促進のため、これからは上・下流並行して整備促進を図る戦略に切り替えるべきだと考える。</p> <p>(1) 本川・支川とも土砂堆積は非常に厳しい状況になってきている。土砂撤去について、京都府の事業計画はどのようになっているのか。また、撤去量の算定根拠が不透明であるため、効果的な撤去量に見直すべきだと考えるがどうか。</p> <p>(2) 大井町、千代川町周辺の桂川右岸堤防の補強・漏水調査の結果、どのような改修事業計画が立てられているのか。上・下流を並行して促進するためには、本川整備が最優先課題だと考えるがどうか。</p> <p>(3) 七谷川の天井川改修について、アユモドキ保全に関わり、環境保全専門家会議からストップをかけられた経緯がある。今後の工事の進め方について、どのように考えているのか。</p>	<p>所管部長</p>

		<p>4 既存集落の区域指定について</p>	<p>(4) 千歳町小口の中谷川の治山ダム下流水路の改修について、京都府も現地調査に入ったと聞いているが、事業計画の日程はどのようになっているのか。</p> <p>市街化調整区域における、既存集落の区域指定については、指定しようとする既存集落の区域や許容する建物の用途を地域と検討し指定することで、当該建物への定住化のために有効活用できるようにする事業であり、大きな期待をしている。</p> <p>(1) 亀岡市は地元説明に入ったと聞いているが、農地を所有していない人が、指定された調整区域に住宅を建てるために、農地を所有できる制度であるのか。</p> <p>(2) その際、農地法が大きな壁となっており、実際、円滑に農業委員会が許認可できるのかどうか、大きな鍵となる。亀岡市の都市計画課と農業委員会で、その合意形成を図ることを前提としているのか。</p> <p>(3) 新規就農者の農地取得の面積は、30アール以上の規制がある。この際、指定区域内の農地取得については、新規就農者が就農しやすい取得面積を、地域によっては10アールに引き下げるべきだと考えるが、市としての見解はどうか。</p>	<p>所管部長</p>
		<p>5 アユモドキの調査・保全活動について</p>	<p>今年の保全・調査、成育・増殖、湧水問題について問う。</p> <p>(1) 今年生まれた仔稚魚個体数と昨年比はどうか。また、産卵場所の拡大については、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 保津川下り乗船場の真下に湧水が出て、越冬地と断定している。冬場の湧水場所の水温調査結果と、越冬していた個体数はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 今年の3月頃に越冬地の調査をした際に、コンクリート3面張りの水路においても、35～36匹が確認された。これにより、湧水がなくても越冬して生息していることが確認された。スタジアム建設用地の湧水問題は、アユモドキの越冬に全く関係がなかったということになる。これについて、地元保全協議会の一員としても強い不信感を持っている。これについて何らかの対応をしたのか。</p> <p>(4) 今日まで増殖の努力をして増やしても、仔稚魚を元の川に放流させない学者の論理に矛盾を感じている。自然のまま産卵・孵化・成育させ、川に戻す事業を推進すべきだと考えるが、所見は。</p>	<p>所管部長</p>



4	<p>竹田 幸生 9月12日(火) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 旧千々川の 廃川敷暫定措置 について</p> <p>2 月読橋球技 場のトイレ充実 について</p> <p>3 水害時の土 のう確保につい て</p> <p>4 介護保険、 介護予防・日常 生活支援総合事 業について</p> <p>5 災害時にお ける社会福祉協 議会の役割、亀 岡市災害ボラン ティアセンター 等について</p>	<p>旧千々川廃川敷については寅天堰土地改良区水路の取合い部分が暫定措置のままとなっている。事業の早期完遂が望まれる。</p> <p>(1) 事業主体は京都府であるが、寅天堰土地改良区用水や地権処理の課題があり、亀岡市の積極的な取組みが必要であるがどうか。</p> <p>今までもトイレ改修、充実が要望し続けられているが、亀岡市の競技団体が主催する近畿規模の大会が、トイレを起因として他市で開催された。亀岡市としては残念である。</p> <p>(1) トイレの充実の方向性はどうか。 (2) 現状を回避する具体策(応急策)はあるのか。</p> <p>近年の雨の降り方により、大きな災害ではなくても用排水路から水があふれ出て住宅に迫ることがある。千代川町地域こん談会で提起された事項だが、身近な場所で土のうが確保できれば早期の対応ができる。</p> <p>(1) 新興住宅地域では、開発公園の砂場を利用すれば迅速な土のう確保が可能になる。利用できるように取組みを新たにしているかどうか。</p> <p>平成30年4月に完全移行となるが、利用者、事業者ともに不安がある。完全移行に向けた現状を確認する。</p> <p>(1) 介護認定者数の現状はどうか。 (2) 介護認定者のうち、利用のない方の割合はどうか。 (3) 介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サービス、通所型サービスの受け皿はどうか。 (4) 地域包括支援センターの介護予防サービス計画の平準化が重要になるが、行政として、どのような取組みを行っているのか。</p> <p>亀岡市災害ボランティアセンターは、災害時に市の要請により開設され、市との連携が重要である。</p> <p>(1) 災害時における市との連絡調整体制はどのようになっているか。 (2) 運営予算はいくらか。 (3) 平時の亀岡市災害ボランティアセンターはどのような事業を行っているのか。 (4) 災害時の緊急な予算確保はどのようになっているのか。 (5) 以前ボランティアの方から社会福祉協議会の場所がわかりにくいとの声があったが、工夫しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>
---	---	--	--	--

		6 中学校のエアコン設置状況について	対象校には夏休み期間に設置工事が行われた。 (1) どのような規模であったか。 (2) 設置工事において問題はなかったか。 (3) 未設置校の設置については予定どおりか。	所管部長
5	馬場 隆 9月12日(火) 14:00~  ※一問一答	1 京都スタジアム(仮称)建設問題について	京都府が本市に建設を計画する京都スタジアム(仮称)を巡って、亀岡市民14名が去る8月31日、京都府に対し、事業費の支出差し止めを求めて京都地裁に提訴した。 事業費167億円のうち、京都府が負担する147億円の費用対効果に根本的な誤謬があること、建設予定地の周辺に生息する天然記念物のアユモドキを絶滅させる恐れがあることを提起している。 そこで以下の点について問う。 (1) 都市計画公園の放置状況は許されない。市民参加のもと、識者の知見も求めアユモドキ保全への管理運営を速やかに行うべきであると思うが、所見は。 (2) アユモドキへの影響は軽微とし、着工を急ぐが、いつ着手予定なのか。 (3) アユモドキへの影響は軽微とする論拠は。 (4) 財産の無償貸付けについて、行政財産は原則として貸付け及び使用許可は不可であり、特例的に目的外使用許可を認めている。無償貸付けができるとする根拠は。 (5) 過大な財政負担は暮らし、福祉を圧迫する。やめるべきではないか。	市長 所管部長
		2 道路行政について	本町通りの歩行者通行安全確保について、かつて、シンボルロード事業として亀岡地区の市道が整備されてきた。ところが、道路構造素材としてアジア系大理石を採用したために道路の劣化が激しく、現在、歩行者と沿線住民が苦勞されている状況にある。そこで以下の点について問う。 (1) 本町通りの整備方策は。 (2) 一旦停止の徹底など、交通安全の啓発方策は。 (3) 自転車に対する交通安全策をどう進めているか。	市長 所管部長
		3 子どもの貧困に対する亀岡市としての取組みについて	夜まで働く親の帰りをコンビニでパンを買って待ち続ける小学生。親にお金の心配をかけまいと、希望の部活や修学旅行をあきらめる中学生。1日のうち、まともな食事は給食だけ。今日本では子どもの6人に1人が貧困に陥っている。2014年7月の厚生労働省の発表では、子どもの貧困率が過去最高の16.3%となり、ひとり親家庭の貧困率は54.6%である。政治と社会が総力をあげ、持続的に子どもの貧困対策に取組む時である。 日本の子どもの貧困率は、経済協力開発機構(OECD)加盟国中ワースト9の深刻さであ	市長 教育長 所管部長

			<p>る。このように急増する背景には、政府が進めてきた雇用、福祉、社会保障の切捨てによって、格差と貧困を拡大してきたことがある。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>(1) 本市において、子どもの貧困実態調査を実施しているのか。「した」「していない」「検討中」で答弁を求める。</p> <p>(2) その理由、状況は。</p> <p>自治体の子どもの貧困対策についての政策と計画、国・府制度の活用状況について、府内26市町村のうち、23市町村が中学校給食（全員制の実施又は予定）をしているが、本市は選択制デリバリー弁当方式を本年度詳徳中学校で行う、となっている。そこで以下の点について問う。</p> <p>(3) 選択制を採用した理由は何か。</p> <p>(4) 全員制の採用への検討は。</p> <p>(5) 中学校給食実現に向けて国や府に求めている、また、求めたいことがあるか。</p> <p>(6) 義務教育費無償化への本市の方針は。</p> <p>(7) 学習支援の取組みをどう行っているのか。</p> <p>(8) 現在4カ所で行われている子ども食堂を含め、本市として子ども食堂にどう関わっていくのか。</p>	
6	<p>富谷加都子 9月12日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 発達障害児支援について</p> <p>2 障害者雇用支援について</p>	<p>発達障害のある一人ひとりに、特性に応じた支援を強化する改正発達障害者支援法が2016年5月に成立した。改正の主旨は、全世代に切れ目なく支援の手が届くように、より具体的な内容を提示するものである。本市における発達障害児の取組みについて問う。</p> <p>(1) 本市の発達障害児数は。</p> <p>(2) 早期発見、早期療育への取組みは。 (ゲイズファインダーに対する認識は。)</p> <p>(3) 発達障害児への支援を進める中で、本市が認識する課題は。</p> <p>(4) 家族への支援体制は。 (ペアレントメンターの養成事業に対する認識は。)</p> <p>(5) 地域生活支援事業のガイドヘルパーの利用範囲が小学校の校区内となっている根拠は。</p> <p>障害者雇用への理解の広がりを推進し、障害者が働きやすい環境整備や就労支援を行うことは、自治体の責務である。本市の取組みを問う。</p> <p>(1) 本市の障害者への就労支援の取組みは。</p> <p>(2) 本市の民間雇用の実態は。</p> <p>(3) 精神障害者の就労の定着に欠かせない生活を支援する体制は。</p> <p>(4) 就労者への相談体制は。</p> <p>(5) 企業に対する障害者理解への啓発や研修の機会の確保は。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

		3 トロッコ亀岡駅周辺の活用について	<p>馬堀駅の北側は、亀岡市の三大観光のうち二大観光（保津川下り、トロッコ列車）の集客地であり、かつ、多くの若者が交流するラフティングの拠点地でもある。「保津川かわまちづくり」計画が策定されているが、調整区域の規制を一部緩和し、河川敷のにぎわいを創出できないかと考える。</p> <p>(1) 山本浜の整備計画は。</p> <p>(2) 河川敷のにぎわいを創出する「ミズベリング」に取組む考えは。</p> <p>(3) 山本浜は、川や山並みを背景にトロッコ列車が走る最高のロケーション地である。観光誘致できるよう基盤整備をする考えは。</p> <p>(4) 篠町にグラウンドゴルフができるような場所がなく、身近にスポーツで憩える場所を確保してほしいとの要望があるが、整備する考えは。</p>	市長
7	奥野 正三 9月13日(水) 10:00~  ※一問一答	1 準市道について	<p>市街化調整区域内または都市計画区域外の新興団地内における幹線道路を準市道と定められた。</p> <p>(1) 準市道の認定を受けることのできる基準は。</p> <p>(2) 6月下旬に調書が締切りと聞いているが、出された件数は。</p> <p>(3) 申請受理数に限度はあるのか。</p> <p>(4) 締切り後の工程は。</p> <p>(5) 財源はどのようになるのか。</p> <p>(6) 今後、毎年度申請を受付けるのか。</p>	市長 所管部長
		2 運動公園のスポーツ施設について	<p>陸上競技場の第3種公認認定期間が満了になり、引続き公認を取得しようとしている。また、2020年東京五輪に向け、オーストリアの空手選手団の練習会場が必要である。</p> <p>(1) 競技場はいつから改修工事が行われるのか。</p> <p>(2) 改修工事の内容と、劣化による更新備品の内容は。</p> <p>(3) 空手選手団の練習会場は体育館になるのか。</p> <p>(4) 施設の保守・点検の手順はどのようになっているのか。</p>	市長 所管部長
		3 ふるさとバスの運行について	<p>限られた台数の中、各地域の要望も多くあるところであるが、畑野コースの増便を望むところである。</p> <p>(1) 現在のバスの運行台数と運行状況は。</p> <p>(2) 増便は可能か。</p> <p>(3) バスに限定せず、他の車両での増便対応は。</p>	市長 所管部長
		4 霧のテラスの設置について	<p>本市の新たな魅力づくりに、霧のテラス事業が進められているところである。</p> <p>(1) 霧のテラスまでの道路は、どこの管理下か。</p>	市長 所管部長

			<p>(2) 新規事業が始まったところであるが、いつの完成となるのか。</p> <p>(3) 見学用の駐車スペースは、何台くらいを想定しているのか。</p>	
8	<p>平本 英久 9月13日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 住民にとって防犯・防災上の不安原因となりうる空き家の対策と有効活用について</p> <p>2 児童虐待の現状と支援体制の整備について</p> <p>3 待機児童解消に向けての保育環境の現状と今後の整備拡充について</p> <p>4 移動手段としての公共交通のあり方について</p>	<p>住民にとって不安原因となりうる管理不全または特定空家だと思われる空き家の対策と、空き家バンク等空き家の利活用についての現状と今後の取組みについて問う。</p> <p>(1) 空き家の実態把握の進捗と空き家等対策計画の策定に向けた見通しと課題はどうか。</p> <p>(2) 管理不全等を理由に空き家所有者が解体や除去を希望した場合の経済的支援はあるのか。</p> <p>(3) 空き家バンクの登録件数や利用希望者の現状と進捗はどうか。</p> <p>(4) 空き家バンクの活性化に向けての課題と今後の取組みについてどう考えているのか。</p> <p>(5) 空き家や空き室の有効活用について、本市では今後どのような取組みを検討しているのか。</p> <p>全国的に増加傾向にある児童虐待であるが、本市における虐待や虐待だと思われる事案の現状と対策について問う。</p> <p>(1) 本市において、児童虐待に該当する通報や情報提供は、年間どの程度あるのか。</p> <p>(2) 現在、虐待事案として把握し支援している事案は何件あり、どのように対応しているのか。</p> <p>(3) 過去から現在の虐待事案件数の推移は、どのように変化しているのか。</p> <p>(4) 児童の生命や身体に著しく影響がある緊急性の高い事案はあるのか。</p> <p>(5) 児童虐待に対応する支援体制についての課題や、予防に向けての支援体制構築をどのように考えているのか。</p> <p>待機児童及び潜在的待機児童の解消や、多様化する利用者ニーズに応えるための保育環境整備の現状と今後の見通しについて問う。</p> <p>(1) 民間保育園の施設整備に本市として積極的支援を行っているが、待機児童の現状と見通しはどうか。</p> <p>(2) 医療的ケアが必要な児童の受入れ等、多様化する利用者ニーズに対応するための保育施設や環境整備の現状と見通しはどうか。</p> <p>マイカーでの移動が困難である高齢者を含む交通弱者の移動手段確保が求められているが、公共交通の重要性とあり方について問う。</p> <p>(1) 高齢者や運転免許証の自主返納者を対象として敬老乗車券を導入するが、今後の計画と</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>効果をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 亀岡地区におけるコミュニティバスの試験運行から本格運行までの経過と乗車率は、どのように推移してきたのか。</p> <p>(3) 市道北古世西川線が全線開通する予定であるが、篠地区でのコミュニティバスの運行は、今後どのように計画しているのか。</p> <p>(4) 住み続けたいまちを目指す本市において、今後の公共交通のあり方をどのように考えているのか。</p>	
9	<p>並河 愛子 9月13日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国民健康保険事業について</p>	<p>8月24日、平成29年度第1回亀岡市国民健康保険運営協議会が開催され、「平成28年度亀岡市国民健康保険事業決算状況等(見込み)」が報告された。市民から保険料を下げしてほしいとの要望も寄せられている。</p> <p>(1) 滞納世帯に対して短期被保険者証が発行されているが、現在の発行数はどうか。</p> <p>(2) 保険料収納対策について、「毎年度多額の滞納額が新たに生じている現状となっており」と明記されているが、滞納の原因は何と考えるか。</p> <p>(3) 平成28年度決算で実質収支は3億8400万円あまりの黒字となっているが、その要因は何か。また、市町村国保と協会けんぽを比較すると1世帯当たりの所得は低い、保険料は市町村国保が高いため、一般会計から毎年繰入れして国保料の引下げを行うべきではないか。</p> <p>(4) 来年度から国保の広域化で都道府県が財政運営の責任主体となる。このことに対する所見はどうか。また、加入者が支払う保険料が上がるのではないかと危惧されるが本市の状況はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>2 地域経済活性化対策について</p>	<p>8月28日、産業建設常任委員会と地元商工業団体との意見交換会が行われた。少子高齢化が進む中でのみちづくりを模索しながら地域の活性化についての支援が求められる。参加された代表の方からは、今、対策を打たなければ地元業者の減少、地域の疲弊につながるのではないかなど、危惧する意見も出された。</p> <p>(1) 地元商工業者の実態把握と調査についての所見は。</p> <p>(2) 地元業者の支援について</p> <p>① 小規模修繕工事希望者登録制度について、3年間の実績はどうか。</p> <p>② 住宅リフォーム助成制度の創設についての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 学校施設の充実について</p>	<p>複数の小学校のトイレについて悪臭が強く、議会でも改善を求める声が出されてきた。そうした中、この夏休みに工事が実施された。</p>	<p>市長 教育長</p>

			<p>(1) 工事の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 洋式トイレをどの程度増やすのか。</p> <p>(3) それ以外の学校で洋式トイレを増やす計画はどうか。</p>	
10	<p>藤本 弘</p> <p>9月13日(水)</p> <p>13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 ふるさと納税の充実で豊かなまちづくりについて</p> <p>2 「受動喫煙防止条例」の制定について</p>	<p>今や、ふるさと納税は各市町村が工夫をこらし、地域の発展のために、貴重な収入財源として取組まれている。</p> <p>(1) この8月1日より、ふるさと納税をリニューアルしたとのことだが、どこをどう変えたのか。</p> <p>(2) 返礼品が検討され、さらなる充実とともに整理されたと聞くと、何がどう変わったのか。</p> <p>(3) 亀岡市の返礼品の中で人気のあるものには、どのようなものがあるか。</p> <p>(4) 9月1日付けの京都新聞には、ふるさと納税の返礼品に、寄附者が所有する空き家の管理や先祖の墓の清掃・維持管理を代行するところがあるが、どのように行い、市外に住む対象者にどのように紹介やお知らせをするのか。</p> <p>(5) 今までに寄附をいただいた方に対して、新たな使用目的や返礼品の追加などは、どのようにお知らせをしているのか。</p> <p>(6) ふるさと納税で、新たな使用目的で追加した項目には、どのようなものがあるか。 (明智光秀像の建立等)</p> <p>(7) 文部科学省は、ふるさと納税を活用し、高校生や大学生の海外留学をサポートする方針を固め、留学支援事業を行う自治体をサイト上で紹介し、この9月より寄附を集めやすいようサポートするとしているが、亀岡市も参加する考えはあるか。</p> <p>(8) 将来的には、京都スタジアム(仮称)が完成すればサッカーチームや小・中学生のスポーツ観戦に、亀岡会館の代わりのコンサートホール等ができれば、音楽鑑賞や観劇の招待等に活用すればよいと思うが、市長の考えは。</p> <p>健康増進法第25条では、「多数の者が利用する施設を管理する者は…受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない」とある。</p> <p>(1) 亀岡市において、「喫煙防止条例」又は「受動喫煙防止条例」等の条例は制定しているか。</p> <p>(2) 小・中学校における禁煙対策について</p> <p>①小・中学校における敷地・施設内での禁煙対策はどのようになっているか。</p> <p>②管理責任者は誰か。</p> <p>③地域の団体等へ施設を貸出す場合、貸出条項には禁煙についてどのようになっているか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者 所管部長</p>

		<p>3 「空き家管理条例」の早期制定について</p>	<p>(3) 亀岡市立病院における施設・敷地内での禁煙対策はどのようにしているのか。</p> <p>(4) JRの各駅等における禁煙対策について</p> <p>① JRの各駅、公園（運動公園・都市公園）等における禁煙対策はどのようになっているか。</p> <p>② 駅や公園に禁煙の看板を設置してほしいとの要望もあるが、どのように考えるか。</p> <p>(5) 亀岡市では、6年前から禁煙を進める市内144施設に認定書とステッカーを渡しているが、その後の認定も含め、ステッカーの貼出し状況はどうか。</p> <p>(6) 具体的な対策は各課にまたがるため、亀岡市も、京都市のように「路上喫煙等の禁止条例」又は「受動喫煙防止条例」等を制定してはどうか。</p> <p>本年3月定例会では、「空き家の実態調査による現状把握が大切ということで、業者に委託して実態調査をしている」との答弁をいただいた。</p> <p>(1) 半年が経ち、どこまで実態調査は進んだのか。</p> <p>(2) 亀岡市に空き家がどれくらいあり、そのうち、活用できる空き家が何軒で、倒壊の危険性のある空き家は何軒くらいあるのか。</p> <p>(3) 福岡県の豊前市のように、自治会組織に依頼し、区域ごとに空き家認定士を派遣し、利用できる空き家と倒壊の危険性のある空き家が何軒あるか、市独自で実態調査を行う考えはあるのか。</p> <p>(4) 3月定例会では、「特措法の手続きは時間がかかるので、条例による規定も必要と考える。内容については、罰則規定の必要性も含め、今後十分に検討し、制定していきたい」と答弁いただいた。他市の取組みも含め、何か研究し、検討されたものはあるのか。</p> <p>(5) 早急に「空き家管理条例」を制定し、空き家バンクにも登録せず5年・10年と放置した場合、固定資産税が重くなる等、倒壊の危険性があり、地域住民に迷惑のかかる空き家に関しては、罰則規定を伴う管理責任を問える条例を制定して対応する必要がある。このままでは何もできない状況が続くと思うが、その考えはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 「中学校給食」の早期実現について</p>	<p>亀岡市ではこの10月から詳徳中学校をモデル校として「昼食弁当」、選択制デリバリー弁当方式が試行される。</p> <p>(1) 1食いくらぐらいで、どのような方式か。</p> <p>(2) 8月26日に、保護者への説明会が実施され、試食もされたと聞かすが、何名の方が参加され、反響はどうだったのか。</p> <p>(3) 「昼食弁当」の実施期間は、どれくらいか。</p>	<p>教育長 所管部長</p>



			<p>(4)途中でアンケート等を実施する考えはあるか。</p> <p>(5)他校への呼びかけと、給食への移行はどのように考えるか。</p> <p>(6)所得の低い世帯に向けた就学支援では、給食費などが支給されるが、「昼食弁当」では、そのような生徒に対する支援はどのように考えるか。</p>	
11	<p>小川 克己 9月13日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防災について</p> <p>2 千々川の廃川について</p> <p>3 通学路の安全対策について</p>	<p>地震災害やゲリラ豪雨を想定した防災訓練や備えについて問う。</p> <p>(1)8月26日に、多くの関係機関が参加して、より実践的に市総合防災訓練が開催された。</p> <p>①地域拠点会場の訓練や情報伝達訓練は、どのようなものであったのか。</p> <p>②本部会場の訓練は、どのようなものであったのか。</p> <p>③訓練の広報は十分であったのか。</p> <p>(2)ドローンを使った事前防災(危険地域の監視等)や、災害発生後へ今後活用していくことについての考えはどうか。</p> <p>(3)今年も各地で発生したゲリラ雷雨等、短時間で発生する水害に備え、三角水のうの配備や、開発公園等にある砂場に砂を補給し、誰でも扱いやすい小さなスコップを各集会所に設置して、緊急対応できるような体制を構築してはどうか。</p> <p>(4)避難所のトイレの状況はどうか。</p> <p>千々川の改修については、南丹土木事務所において、千々川改修委員会を窓口として、鋭意進めていただいているが、旧千々川の廃川敷は寅天堰土地改良区の水路との取り合い部分を含め暫定措置のみである。</p> <p>(1)先日、8月17日に整備促進委員会で要望されているが、過去には、寅天堰土地改良区水路の改修を含む設計図面ができていたと聞くが、所見は。</p> <p>(2)改修整備に向けた取組みの所見は。</p> <p>(3)現在、自治会が無償借用している旧河川敷部分については、自治会行事等に活用されている。最終的には用地整理するように、市から府に対して働きかけることが必要だと考えるがどうか。</p> <p>去る、9月4日、子どもの交通事故防止推進日に係る啓発活動を、市道川関小林線で、地元自治会と亀岡市交通安全対策協議会等が実施主体となり取り組んでいただいた。</p> <p>(1)市道高野林線は、千代川小学校の児童総数の1割強である64名が利用し登校しているが、歩道の標示やカラー化ができておらず、注意喚起等の対策ができていない状況で</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 地域の掲示板について</p> <p>5 人と環境にやさしいまちづくりについて</p>	<p>ある。早急に対策が必要であると考えているが、所見は。</p> <p>各自治会の各区単位で屋外に設置されている掲示板について問う。</p> <p>(1) 掲示板は、催しやイベント案内をはじめ、亀岡市等の公共機関と地域住民をつなぐ「回覧板」のような身近な存在である。ポスター等を選びようでとめにくいと聞くが、同じような事例はないのか。また、各地域で同じ仕様であるのか。</p> <p>(2) 改善策はないのか。</p> <p>ごみの発生・排出抑制と資源化の推進及び二酸化炭素を抑制した地球温暖化対策の取組みについて問う。</p> <p>(1) 平成24年度に策定された、亀岡市ごみ処理基本計画の進捗状況は。</p> <p>(2) 埋立てごみの中に、リサイクル可能な資源は入っていないか。</p> <p>(3) さらなるごみ減量についての取組みの考えはどうか。</p> <p>(4) 平成29年度「ライトダウン in かめおか」の目的は。</p> <p>(5) 各家庭、学校、事業所等に向けたPRと連携はどうであったのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
12	<p>木曾 利廣 9月13日(水) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 河川事業について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)建設について</p>	<p>6月定例会での質問以降で進捗していない京都府治水対策について、亀岡地域の平成29年度の桂川治水対策事業(桂川本川及び支川)の内容を問う。</p> <p>(1) 平成29年度の京都府の桂川治水対策で、大井町から要望があった本堤防の強靱化の取組みについて問う。</p> <p>(2) 桂川治水対策の内容で、ドローンにより調査した堆積土砂の採取について、いつの時期に報告されていつの時期に撤去されるのか。</p> <p>(3) 桂川・支川内に堆積している土砂の撤去はされるのか。</p> <p>(4) 山本浜に設置されている防災用河川監視カメラのより使いやすい手法について要望しているが、改善されるのか。</p> <p>京都スタジアム(仮称)の建設予定地変更が決定し、実施計画に基づき来年の年明けから建設工事が始まると聞くが、建設中の車両の経路や、スタジアム完成後の残された課題について尋ねる。騒音対策・景観対策、交通渋滞緩和策、また京都・亀岡保津川公園用地の活用計画はいつ公表するのか問う。</p> <p>(1) 京都スタジアム(仮称)の建設に関わる工事車両の経路及び安全対策は示されているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 文化センター・児童館の利用について</p>	<p>(2) スタジアム完成後の残された課題とされる問題点は整理されているのか。</p> <p>(3) 京都・亀岡保津川公園でのアユモドキ保護と、市民が集える公園整備の計画を問う。</p> <p>平成21年3月の隣保館のあり方研究会の報告を受けて進められている文化センター・児童館の利用拡大と、現在設定されている利用料のあり方について問う。</p> <p>(1) 隣保館のあり方研究会が設置された目的は何であったのか。</p> <p>(2) 隣保館のあり方研究会がまとめた内容は。</p> <p>(3) 平成24年3月定例会の故・堤松男議員の質問で、隣保館の今後の運営についての答弁があったが、再度内容について問う。</p> <p>(4) 人権福祉センターの建設に至る経緯について問う。</p> <p>(5) 人権福祉センターの運営と外郭団体・NPO法人を含む関係について問う。</p> <p>(6) 新築された人権福祉センターや、新しく改築された各センターの使用料の見直しについて問う。</p> <p>(7) 各センターの今後のあり方は生涯学習の拠点施設と考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 外郭団体の改革について</p>	<p>行財政改革や事業内容の観点から、外郭団体のさらなる活用や民営化を考えてはどうかと思う。他市の改革状況を参考にして、本市でも取組むべきと考える。</p> <p>(1) 農業公社のさらなる改革と活用について問う。</p> <p>(2) 環境事業公社の民営化について問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 環境行政について</p>	<p>最終処分場の延命と埋立てごみの削減は喫緊の課題であり、財政状況が厳しい中で早急に方向性を示すべき時期に来ていると考えるが、本市の基本姿勢について問う。</p> <p>(1) 東別院町大野の最終処分場の延命は行うのか。</p> <p>(2) 処分場の延命と埋立てごみの削減には市民の協力と資源化（リサイクル）の推進が不可欠であると考え、本市の今後の対策は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>6 学校規模適正化問題について</p>	<p>現在、学校規模適正化の取組みが市内各地で教育委員会の主導により進められているが、該当する地域での説明会について不満が出ている。このままでは学校・保護者・地域の混乱を招くと考え、教育委員会の基本的な考えを整理して、再度当該地域に理解を求める考えについて問う。</p> <p>(1) 一方的な（地域によっては）通学変更ありきではなく、期間を決めず、まずは実施する必要性を説明して、それぞれの地域事情や学校の考え方など、今までの経過を理解した上</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

			で最善策を提言すべきと考えるが、教育委員会の考えは。	
13	田中 豊 9月13日(水) 15:45～  ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	<p>「核兵器禁止条約の国連会議」は、7月7日核兵器禁止条約を国連加盟193カ国の63%にあたる122カ国の賛成で人類史上初めて採択された。以下の諸点について、市長の所見は。</p> <p>(1) 条約の前文は、国連憲章に始まり「核兵器の非人道性」を明確に述べている。「ヒバクシャ」という言葉が2カ所ある。この前文に対する所見は。</p> <p>(2) 条約は、第1条から第20条までとなっている。第1条は、ホワイト議長が「心臓部」と述べた条約の核心にあたる。(a)から(c)で「核兵器またはその他の核爆発装置」の開発、実験、生産、製造、所得、保有、貯蔵、移転、受領の禁止が、さらに(d)で「使用の威嚇」の禁止が明記された。また、第4条では「核兵器の完全廃絶」の枠組みが提示され、第6条には被爆者援護の規定が盛り込まれている。採択された「核兵器禁止条約」に対する所見は。</p> <p>(3) 唯一の被爆国である日本が、核兵器保有国と非保有国の橋渡し役になるとして、国連会議に参加しなかった。松井広島市長は8月6日の広島市の平和記念式典「平和宣言」において、また田上長崎市長は8月9日の長崎市の平和祈念式典「長崎平和宣言」において、日本政府に「核兵器禁止条約」への参加を求めた。日本政府は、「核兵器禁止条約」に参加すべきと考えるが所見は。</p> <p>平和首長会議の第6回国内加盟都市会議総会が、11月7～8日に佐倉市で開かれた。以下の諸点について問う。</p> <p>(4) この平和首長会議に参加している国内の自治体数は。</p> <p>(5) 「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」に対し賛同・協力することとした総括文書が採択された。これに対する所見は。</p> <p>(6) 「「核兵器禁止条約」の早期実現に向けた取組の推進について」と題する安倍首相宛ての要請文も全会一致で確認された。これに対する所見は。</p> <p>(7) 市長として、核兵器廃絶国際署名を市職員や市民に広く呼び掛けてはどうか。</p>	市長
		2 市長の住居問題について	<p>本年6月定例会で共産党議員団の馬場議員が質問したが、それを踏まえて以下の諸点について問う。</p> <p>(1) 登記簿謄本によると、当該建築物は平成9年10月10日に「登記原因新築」として桂川孝裕名義で登記されているが、間違いはな</p>	市長

		<p>3 天川の産業廃棄物撤去について</p> <p>4 農業者「収入保険制度」について</p> <p>5 市立小・中学校の施設点検について</p>	<p>いか。</p> <p>(2) 本年3月11日付け毎日新聞は「市長の説明によると、1998年市街化調整区域で農業従事者の知人を介し農家住宅として新築された木造2階建てを取得」と報じている。「知人を介して取得」ならなぜ登記原因が新築となるのか。「売買」となるのではないか。</p> <p>(3) 「建築確認申請の名義人」と「農業従事者の知人」は同一者か。</p> <p>(4) 違法性を認識しながら建築した疑いが濃厚であるかどうか。</p> <p>この問題は、これまで何度も早期撤去を求めて質問してきたところであり、また去る7月10日の蔦田野町自治会との地域こん談会でも懇談のテーマとなった。</p> <p>(1) 当該産業廃棄物の早期撤去について、その方策・目途・予算措置は。</p> <p>先の通常国会で成立した農業者「収入保険制度」は、農産物の価格下落や不作、災害などで農家の収入が減った場合に補てんする制度で、来年度から始まる。そこで、以下の諸点について問う。</p> <p>(1) 「収入保険」はどのような仕組みか。</p> <p>(2) 「基準収入」は過去5年間の平均収入であり、生産費を償っているかどうかは全く考慮されていないと思うがどうか。</p> <p>(3) 収入が減れば、それに伴い基準収入も下がり、補てん後の収入も所得も減ると思うがどうか。</p> <p>(4) 従来 of 価格補償や戸別所得補償は農家負担がゼロであったが、収入保険は農家に高額 of 掛け金を求めるものと思うがどうか。</p> <p>(5) 加入対象者は、青色申告者に限定されているが、亀岡 of 青色申告者の戸数と全農家に占める割合はどうか。</p> <p>(6) 農業共済 of 今後はどうなるのか。</p> <p>(7) 農水省は、収入保険が「農業経営への影響を緩和する」と説明しているが、本当に緩和できるのか。</p> <p>7月10日の蔦田野町自治会との地域こん談会でも懇談のテーマとして「蔦田野小学校 of 修繕について」が取上げられた。具体的には非常階段 of 修繕であるが、PTA会長も切実に要望された。そこで、以下の諸点について問う。</p> <p>(1) 応急的な修繕はされたとのことであるが、地域こん談会で要望されるまで把握していなかったのか。</p> <p>(2) 学校 of 設置者として、定期的に点検をしているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
--	--	--	--	--

14	<p>齊藤 一義 9月14日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都学園大学について</p> <p>2 本市の安全安心の防犯対策について</p> <p>3 災害物資協定について</p> <p>4 エコトピア亀岡に関する要望の遵守について</p> <p>5 受動喫煙防止法について</p>	<p>京都学園大学は平成30年3月以降に新理事長を迎え、平成32年4月に太秦キャンパスに工学部及び大学院工学研究科を開設する構想の基本合意をされた。</p> <p>(1) 亀岡キャンパスの展望は。 愛知県の豊田工業大学や愛知工業大学等全国の工業大学の多くが1年目は寮体験をしている。</p> <p>(2) 1回生時は亀岡キャンパスで学び、2回生からは太秦キャンパスとの要望をしようか。</p> <p>亀岡警察署から西別院町自治会へ不法ヤード対策の協力があつた。(ヤードとは、周囲が鉄板等で囲まれた作業場等であつて、海外への輸出等を目的として、自動車等の解体、コンテナ詰め等の作業のために使用していると認められている施設)</p> <p>(1) 本市内にヤードは何カ所あるのか。 (2) 不法ヤードに対して指導しているのか。 (3) 本市独自の条例をつくり規制する考えは。 (4) 警察署からの案内で防犯カメラを設置とあるが、本市の防犯の考え方により補助金額の見直し、または本市で防犯カメラを設置してはどうか。</p> <p>近年、地震及び台風、豪雨災害など想定外の自然災害が多発しているが、本市もいつ何どき被災者に必要な物資を速やかに供給しなければならない事態が起きないとも限らない。</p> <p>(1) 京都府及び府下14市町がNPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定書」を締結しているが、本市も締結してはどうか。</p> <p>現在稼働中であるエコトピア亀岡の建設にあたり、平成15年7月7日付けで本市と交わされている要望書の中で、遵守されていない事項がある。</p> <p>(1) 市道西條重利線の市道矢折線との交差点までの道路拡幅の推進は。</p> <p>受動喫煙の防止について、我が国は平成15年以降、健康増進法に基づき、施設の管理者に受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずる「努力義務」を課し、自主的な取組みを推進してきた。しかしながら、たばこを吸わない人が8割を超えているにもかかわらず、いまだに多くの国民が飲食店や職場等の「公の場」において深刻な受動喫煙の被害に遭っている。</p> <p>(1) たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約(FCTC)の遵守の考えは。 (2) WHOたばこ規制枠組条約第8条の実施のためのガイドラインの遵守の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 担当部長</p>
----	---	--	---	--



			<p>が現在の3割増の168万人に迫り、いまだかつて経験したことのない多死社会が到来する。そのような時代が近づく中、地方自治体はどのような問題に直面し始めているのか。</p> <p>(1) 縁者のいない独居高齢者の増加については。</p> <p>(2) 増加する独居高齢者の死亡に伴う空き家対策については。</p> <p>(3) 孤独死した人の縁者探しについては。</p> <p>(4) 無縁遺骨の引き受け増については。</p> <p>(5) 無縁墓地の増加については。</p> <p>(6) 火葬場の不足については。</p>	
		4 高齢者運転免許証自主返納支援事業について	<p>高齢ドライバーによる交通事故が全国で相次ぐ中、高齢者に運転免許証の自主返納を促す対策が広がっている。</p> <p>(1) 高齢者運転免許証自主返納支援事業の内容は。</p> <p>(2) 返納者数の状況は。</p> <p>(3) 返納理由や経緯等の調査は。</p> <p>(4) 制度が有効に活用され、事業効果が現れているのか。</p> <p>(5) 今後の展開、課題は。</p>	市長 所管部長
		5 NHK大河ドラマ誘致について	<p>現在放映中のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が12月で終了し、来年1月からのNHK大河ドラマは、明治維新から150年にあたることから、西郷隆盛の生涯を描く「西郷どん」に決定されている。また、その翌年の2019年のNHK大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」では、日本マラソンの父と呼ばれる故・金栗四三氏が描かれる。</p> <p>(1) NHK大河ドラマ誘致推進協議会の活動状況は。</p> <p>(2) 本市での活動状況は。</p> <p>(3) 放映誘致の見通しは。</p>	市長 所管部長
		6 市道北古世西川線について	<p>市道北古世西川線では現在、残る部分の道路築造工事が進められている。本線は追分町の旧保津踏切跡から篠町の一級河川西川までの約1.5キロメートルの延長である。特に府道の柏原区間において、隘路の朝夕の渋滞緩和につながり、事業効果が大きく発揮できる。</p> <p>(1) 進捗状況と今後の見通しは。</p>	市長 所管部長
16	奥村 泰幸 9月14日(木) 11:30～	1 国道372号について	<p>国道372号(柿花工区)について問う。</p> <p>(1) 工事等の進捗状況は。</p> <p>(2) 完成時期は。</p>	市長 所管部長
	※一問一答	2 市道の整備構想について	<p>市道湯ノ花温泉線の整備構想について問う。</p> <p>(1) 整備構想策定に関する策定会議の設置等は。</p>	市長 所管部長



		<p>3 ふるさとバスについて</p> <p>4 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>ふるさとバスの路線の変更について問う。 (1) 蕨田野町鹿谷区への乗り入れは可能か。</p> <p>水害対策について問う。 (1) 農地を調整池として活用してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
17	<p>福井 英昭 9月14日(木) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 フィルムコミッション的発信方法について</p> <p>2 亀岡駅南北のまちづくりについて</p> <p>3 桂川逆流洪水時の避難目安について</p>	<p>亀岡市域は映画、ドラマ、コマーシャルなど多くの撮影ポイントが存在する。フィルムコミッションの内容や意義は今更言うまでもないが、亀岡こそ諸条件を最も色濃く持っているフィルムコミッションの最適地だと考えている。 (1) フィルムコミッションとはどのようなものと認識しているか。 (2) 秋元治氏の「ファインダー ー京都女学院物語ー」などは映画ではないが、フィルムコミッションの考え方があれば様々な発信ができるのではないか。 (3) 市長の肝いりの「かめおか霧の芸術祭」にも活用できるのではないか。 (4) 近年、様々な媒体で亀岡が取上げられることが増えた。この情報を統括することは、取組んでいるシティプロモーションの核となるのではないか。</p> <p>亀岡駅北は土地区画整理事業が進み、京都スタジアム（仮称）も着工間近となった。一方、駅の南には従来の市街地や旧城下町があり、人口の多くが集中している。駅に表と裏をつくるのは本意ではないはずである。 (1) スタジアム周辺の構想に関連して、駅北・駅南の双方のあり方についての所見は。 (2) まち全体の人々の動線についての考え方は。 (3) 嵯峨野線をまたぐ南北通路を増強あるいは増設すべきと考えるが、所見は。 (4) 市道北古世西川線の動向と、完成後の交通対策は。 (5) イオン東側の府道を南行し左折して保津橋へ至る交差点の部分に、左折レーンを整備できないか。 (6) 市道駅北余部線の形状と完成時期は。 (7) 市道駅北余部線の効果は。 (8) 亀岡駅周辺の道路網の完成時期は。 (9) 駅北や駅南へのホテル誘致についての所見は。 (10) スポーツ医学系の大学やリハビリ医療施設の誘致についての所見は。</p> <p>亀岡駅北への16.1ヘクタールの盛土により逆流洪水時に浸水地域が増えるのではないかと心配されている。府や市は、高水敷掘削土との相殺で水害はひどくはならないと説明してきた。しかし、浸水地域の住民には理解が得られていない。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 公募型伐採と公募型浚渫について</p>	<p>(1) 桂川の水位と、浸水面積や浸水高は比例していると感じているがどうか。</p> <p>(2) 現在発行されているハザードマップは、ただ単にこの地域はこのくらい水が来る可能性があるという平面的なものではないと思うが、どのように考えるか。</p> <p>(3) 現在の災害情報伝達の方法で、確実かつ絶対的な避難の目安が示せていると考えるか。</p> <p>(4) 単純に標高で記せばわかりやすいものができるのではないか。</p> <p>(5) 住民の立場から見ると、人の避難だけではない。例えば自動車等は避難の目安があれば先に高台へ移動することができるのではないか。</p> <p>(6) 現在のハザードマップのようなあいまいなものではなく、絶対的な指標をもって住民に伝えるべきと考える。特に水害常襲地とされてきた地域には、このような情報を提供することで、災害時の不安の解消に役立つことはもちろん、実際に盛土した結果、浸水域がどうなるのかを示すことになると考えるがどうか。</p> <p>山形県や新潟県では、公募型で業者を募り、一定のルールの下で、河川に繁茂した立木の伐採や河床に貯まった土砂の浚渫を許可している。</p> <p>(1) 過去には本市でもこのような制度があったのか。</p> <p>(2) 河川に関しては府の管理のものが多く、問題になっている河川の大半が府の管理であるが、市の管理河川から制度を始める考えは。</p> <p>(3) 公募型伐採は亀岡市域内の森林についても準用できるのではないか。</p>	<p>所管部長</p>
<p>18</p>	<p>小松 康之 9月14日(木) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 移住・定住について</p>	<p>本市の人口が9万人を割った。高齢化対策も重要な課題だが、それ以上に若者の移住・定住対策に力を入れなければならない。若者が増えればまちも活気にあふれ、子どもが増え、高齢者も負担が減る。このような持続可能な社会を維持するために、若者に雇用の場と起業できる環境づくりが急務である。また情報提供は、提供する側の一方的な思い込みを捨て、移住者の視点から「そこに住めば幸せになれる」というストーリー（物語）作りが必要である。そのための施策について問う。</p> <p>(1) 本市の移住・定住のホームページの内容について他市との比較も兼ねて問う。</p> <p>① 6月定例会質問時からどのような発信を加えたのか。</p> <p>② 同ホームページで「トカイナカな生活 カメオカライフ」を感じさせる内容はどこを見たらよいのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 奨学金返還金の助成制度について</p>	<p>③同ホームページの更新予定は。 ④更新するとすればどのような内容になるのか。</p> <p>(2) 亀岡市定住促進会議の経過について問う。 ①情報発信についての結論はいつ出されるのか。 ②会議の内容をどのように市政に反映させていくのか。</p> <p>(3) 亀岡市の若者移住・定住促進のための地域交流施設整備事業補助金制度をカフェやギャラリー以外の新たな起業にも使えないか。 (4) 亀岡市創業支援助成金を定住者のみならず移住者にも利用できるようにできないか。</p> <p>現状の奨学金制度ではなく、愛知県瀬戸市「瀬戸市せとまち人材応援助成金基金条例」を参考に、若者の移住・定住化施策としての新たな助成制度について提案し、その所見を問う。 (1)本市の20代前半の人口の流出入について問う。 ①人口の増減は。 ②流出原因は何か。 ③流出を防止するにはどうすればよいか。 (2) 若者の雇用について問う。 ①雇用創出の現状は。 ②雇用創出の今後の見込みは。 (3) 本市に住み、かつ就職する大卒者の奨学金助成制度制定について所見を問う。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>3 防災について</p>	<p>9月3日、西つつじヶ丘において自主防災会による避難訓練が実施された。特に今回は、上下水用の給水と簡易トイレの作成を初めて行った。震災時において給水やトイレの確保は、命にかかわる重要な課題であり、即応体制が求められる。本市における現状と認識について問う。 (1) 災害時の給水について問う。 ①本市の給水車の台数は。 ②水道供給施設が被災した場合の対策は。 ③避難所の飲料水・トイレ用水の確保は。 ④家庭における雨水タンクの利用状況は。 (2) 避難所のトイレ確保、特にマンホールトイレの設置について問う。 ①簡易トイレはどのような難点があるか。 ②本市の災害用簡易トイレとは。 ③国交省のマンホールトイレの整備・運用のための補助金はどうなっているか。 ④長岡京市のマンホールトイレの設置状況の所見は。 ⑤亀岡川東学園以外の学校または避難所に設置の予定は。 ⑥災害時、自治会等避難所に現存するマンホールに設置できる簡易トイレや簡易テントの配置は。</p>	<p>市長 所管部長</p>